

特定非営利活動法人日本火山学会  
平成 23 年度定例総会議事録

1. 日時：平成 23 年 5 月 23 日(月)  
午後 1 時から 2 時
2. 場所：千葉市・幕張メッセ国際会議場 302 室
3. 出席者：維持会員 86 名，有効委任状数 29 通  
合計 115 名

4. 議案：

1. 平成 22 年度事業報告の件
2. 平成 22 年度財務報告の件
3. 平成 23 年度事業計画の件
4. 平成 23 年度財務計画の件
5. 各賞受賞候補者承認の件
6. 議事録署名人承認の件
7. その他

5. 議事の経過の概要および議決の結果

出席者(委任状を含む)が 115 名で，定足数 93 名を超えていることを確認し，議長(定款により学会の会長)が平成 23 年度日本火山学会定例総会の開会を宣言した。

- (1) 第一号議案 平成 22 年度事業報告の件  
平成 22 年度の事業について各担当理事からの報告(資料 1)に基づき議長が諮り，全員異議なくこれを了承した。
- (2) 第二号議案 平成 22 年度財務報告の件  
平成 22 年度の決算報告と会計監査(資料 2)が森理事より報告され，これらについて議長が諮り，全員異議なくこれを了承した。また，会計監事からの監査報告についても，全員異議なく了承した。
- (3) 第三号議案 平成 23 年度事業計画の件  
平成 23 年度の事業計画案について各担当理事からの説明(資料 1)に基づき議長が諮り，全員異議なくこれを承認した。
- (4) 第四号議案 平成 23 年度財務計画の件  
平成 23 年度の予算案について森理事からの説明(資料 3)に基づき議長が諮り，全員異議なくこ

れを了承した。

- (5) 第五号議案 各賞受賞候補者承認の件  
平成 23 年度日本火山学会各賞候補者について，篠原理事からの報告(資料 4)に基づき議長が諮り，全員異議なくこれを承認した。
- (6) 第六号議案 議事録署名人承認の件  
議長より本日の議事をまとめるに当たり，議事録署名人 2 名を選出することを諮り，萬年一剛氏および筒井智樹氏を選出することを全員異議なく承認した。

以上，この議事録が正確であることを証します。  
平成 23 年 5 月 23 日

議長 中田節也 印  
議事録署名人 萬年一剛 印  
議事録署名人 筒井智樹 印

(資料 1) 各委員会報告

(平成 22 年度事業報告・平成 23 年度事業計画)

(1) 庶務委員会 (大湊理事)

1. 入退会希望・会員数について

	維持	学術	一般	団体	名誉	計
2010 年秋季大会後	277	706	42	14	9	1,048
入会承認予定	3	6	1	0	0	10
逝去	0	3	0	0	0	3
退会	3	19	3	0	0	25
区分変更	+2	-3	+1	0	0	0
2011 年定例総会後	279	687	41	14	9	1,030

除名対象者 3 18 0 0 0 21  
除名対象者には 6 月末に通知を行い，8 月末までに会費未納の場合，秋季大会において除名の承認を行う旨の説明があった。

2. 主催・共催・協賛・後援について

- 協賛 3 件
- ・ 第 36 回リモートセンシングシンポジウム  
(主催：社団法人 計測自動制御学会)
  - ・ 国際地学オリンピック (NPO 国際地学オリンピック日本委員会)
  - ・ 日本地熱学会平成 22 年度学術講演会

(主催: 日本地熱学会)

共催 2 件

・ 第 22 回研究成果発表会 (主催: 海洋調査技術学会)

・ 第 54 回粘土科学討論会 (主催: 日本粘土学会)

後援 2 件

・ 日本ジオパーク糸魚川大会 (主催: 日本ジオパーク糸魚川大会実行委員会)

・ 第 5 回火山と環境シンポジウム (主催: 財団法人 阿蘇火山博物館久木文化財団)

3. 転載・使用許可について

6 件の申請を受け付けた。

4. 人事公募について

25 件の人事公募について「火山」に掲載を行った。

(2) 編集委員会 (寅丸理事, 代読大湊理事)

1. 「火山」発刊状況について

【55-5 号】 2010 年 10 月 31 日発行

【55-6 号】 2010 年 12 月 31 日発行

【56-1 号】 2011 年 3 月 31 日発行

2. 「火山」発行予定・掲載予定原稿について

【56-2・3 合併号】 6 月末発行予定

○通常論文

論説 No.1007 安田 敦

論説 No.1016 上澤真平・中川光弘・江草匡倫

3. 査読編集状況について

現在査読編集集中の原稿: 計 12 編 (論説 6 編, 寄書 6 編(内 2 篇受理))

4. 桜島火山特集号について

投稿状況: 論説 7 編

積極的な投稿の呼びかけがなされた (締切は 6 月 30 日)。

5. 「火山」発行回数について

昨今の「火山」の掲載状況を背景に編集委員会で検討を行った結果, 「火山」発行回数を年 4 回とするという結論に達したことが報告された。

今年度から, 合併号を利用して実質年 4 回発行とする (3 月発行(1 号), 6 月発行(2・3

合併号), 9 月(4・5 合併号), 12 月(6 号))。

(3) 事業委員会 (星濟理事, 代読大湊理事)

1. ロゴマークの普及について

昨年制定された火山学会ロゴマークの普及を下記等によりはかることが報告された。

・ 学会封筒

・ 学会誌「火山」表紙

・ 秋季大会に向けグッズを企画

2. 第 12 回地震火山子どもサマースクールについて

今年度は, 8 月 6 日(土), 7 日(日)に磐梯において開催予定。

主催は公益社団法人日本地震学会, 特定非営利活動法人日本火山学会, 日本地質学会, 磐梯山ジオパーク協議会。

日本火山学会は 20 万円助成を行う。この他の助成は日本地震学会 30 万円, 日本地質学会 20 万円, 国立青少年教育振興機構(子どもゆめ基金助成金)118 万円。

(4) 大会委員会 (松島理事, 代読大湊理事)

1. 2011 年度秋季大会について

・ 会場: 旭川市 大雪クリスタルホール

・ 日程: 10 月 2 日(日) 午前 一般講演  
午後 一般講演

10 月 3 日(月) 午前 一般講演

午後 特別講演

10 月 4 日(火) 午前 一般講演

・ 特別セッション(予定): ジオパーク・霧島火山

・ 火山防災シンポジウム (旭川市との共催): 10 月 1 日午後

・ 現地討論会:

A コース: 9 月 30 日から 10 月 1 日午前  
(十勝岳)

B コース: 10 月 4 日午後から 5 日  
(大雪山・白滝黒曜石ジオパーク)

・ 公開講座: 火山学者と火山を作ろう!  
マグマのおもしろ実験教室 in 旭川

10 月 1 日午前・午後 (科研費・研究成果公開促進費に採択)

- ・大会案内は6月中旬に行い、講演申込は7月上旬から8月12日(金)を予定.
  - ・学生優秀発表賞の創設を検討中.
2. 2012年度秋季大会について
- ・会場: 長野県御代田
  - ・日程: 2012年10月14日(日)から16日(火)
  - ・LOC: 東京大学地震研究所・日本大学
  - ・現地討論会(予定): 浅間山・草津白根山
- (5) 国際委員会(藤田理事, 代読大湊理事)
1. IAVCEI National Report について
- IAVCEI National Report (2007-2010) を作成し, IUGG2011 で配布予定.
2. 国際会議セッション提案奨励事業について
- ・趣旨: 国際学会において主提案者としてのセッションの企画提案を行う若手研究者を奨励し渡航費用の補助を行うことにより国際学会における日本の火山学の認知度を高めるとともに, 世界の火山学において先導的な活躍を行う若手の活動を奨励することにより日本における火山学の活性化を図ることを目的とする.
  - ・渡航補助: 1件あたり20万円以内
  - ・件数: 毎年最大2件
  - ・募集時期: 随時
  - ・選考基準: 学生, ポスドク, 若年者優先
  - ・承認: 理事会の承認
- (6) 他学会委員会(金子理事, 代読大湊理事)
1. EPS 誌について
- ・日本火山学会は分担金20万円の支払いを行った.
  - ・平成23年度科研費(研究成果公開促進費)が採択された(単年度の採択).
  - ・直接出版費の入札の開札を行い, (有)テラパブ社の落札となった.
- (7) IAVCEI2013 委員会(井口理事, 代読大湊理事)
1. 2010年度の活動について
- ・実行委員会3回(5月7日(幕張), 10月9日(京都), 1月18日(鹿児島))および第1回組織委員会(7月6日(鹿児島))を開催した.
  - ・IUGG 若手渡航補助を公募し, 12名に渡航補助を決定した.
2. 2011年度の活動予定について
- ・実行委員会を開催し, 大会ロゴの最終決定, HP の立ち上げ, 1st サーキュラー出版, ポスター作成等を行う(5月(幕張), 10月(旭川), 1月(鹿児島)の予定).
  - ・第2回組織委員会を7月開催(鹿児島)
  - ・IUGG において大会の案内(ポスター・ブース・サーキュラー配布)を行う.
  - ・免税対象事業への登録申請・巡検下見・募金活動を開始する.
  - ・日本火山学会より補助金450万円の支払いを予定.
- (8) 学校教育委員会(林理事, 代読大湊理事)
1. 2010年度の活動について
- ・火山教育に関する研究として秋季大会公開講座においてデータ収集を行った.
  - ・秋季大会においてセッション「ジオパークと火山教育」を開催した.
  - ・地球惑星連合学会教育問題検討委員会教育課程小委員会へ参加し, 情報収集を行った.
2. 2011年度の活動予定について
- 火山教育に関する研究およびセッション「ジオパークと火山教育」を引き続き実施する.

## (資料 2) 平成 22 年度財務報告

## (1) 平成 22 年度決算報告

収支計算書		平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日		
特定非営利活動に係る事業会計		(単位:円)		
科目	予算額	決算額	増減	
<b>【経常収入の部】</b>				
会費収入	3,090,000	3,423,000	-333,000	
事業収入	3,647,250	3,309,807	337,443	
寄付金収入	2,300,000	2,100,000	200,000	
その他収入	10,000	245,624	-235,624	
経常収入合計	9,047,250	9,078,431	-31,181	
<b>【経常支出の部】</b>				
事業費	12,210,000	7,680,523	4,529,477	
火山学に関する定期大会等の開催費	2,450,000	1,415,512	1,034,488	
会誌機関紙研究報告書等発行費	4,050,000	3,519,467	530,533	
公開講座講演会等開催費	460,000	330,094	129,906	
火山学等の普及啓発に関する事業費	3,000,000	200,550	2,799,450	
火山学等に関する研究奨励表彰費	50,000	14,900	35,100	
助成金支出	2,200,000	2,200,000	0	
管理費	7,042,000	5,812,607	1,229,393	
経常支出合計	19,252,000	13,493,130	5,758,870	
経常収支差額	-10,204,750	-4,414,699	-5,790,051	
<b>【その他資金収入の部】</b>				
収益事業会計からの繰入収入	300,000	270,000	30,000	
<b>【その他資金支出の部】</b>				
特定預金支出				
退職給与引当預金支出	150,000	150,000	0	
予備費	500,000	—	500,000	
その他資金支出合計	650,000	150,000	500,000	
当期収支差額	-10,554,750	-4,294,699	-6,260,051	
前期繰越収支差額	27,250,263	27,252,888	-2,625	
次期繰越収支差額	16,695,513	22,958,189	-6,262,676	

正味財産増減計算書  
特定非営利活動に係る事業会計

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日  
(単位:円)

科目	金額	
<b>【増加の部】</b>		
資産増加額		
期末棚卸額	771,343	
退職給与引当預金増加額	150,000	921,343
負債減少額		
増加額合計		921,343
<b>【減少の部】</b>		
資産減少額		
当期収支差額	4,294,699	
期首棚卸額	584,129	
建物減価償却額	169,553	5,048,381
負債増加額		
減少額合計		5,048,381
当期正味財産減少額		4,127,038
前期繰越正味財産額		49,515,888
期末正味財産合計額		45,388,850

財産目録  
特定非営利活動に係る事業会計

平成 23 年 3 月 31 日現在  
(単位:円)

科目	金額
<b>【資産の部】</b>	
流動資産	
現金預金	26,150,747
未収会費	901,000
棚卸資産	771,343
未収金	1,120,455
流動資産合計	28,943,545
固定資産	
基本財産	
土地	10,749,528
建物	4,562,980
基本財産合計	15,312,508
その他の固定資産	
みずほ銀行根津支店 No.1776266 退職準備	325,932
みずほ銀行本郷支店 No.8062377 国際学会	6,020,878
固定資産合計	21,659,318
資産合計	50,602,863
<b>【負債の部】</b>	
流動負債	
前受会費	5,188,000
預り金	26,013
流動負債合計	5,214,013
負債合計	5,214,013
正味財産	45,388,850

貸借対照表  
 特定非営利活動に係る事業会計

平成 23 年 3 月 31 日現在  
 (単位:円)

科目	金額
<b>【資産の部】</b>	
流動資産	
現金預金	26,150,747
未収会費	901,000
棚卸資産	771,343
未収金	1,120,455
流動資産合計	<u>28,943,545</u>
固定資産	
基本財産	
土地	10,749,528
建物	4,562,980
基本財産合計	<u>15,312,508</u>
その他の固定資産	
みずほ銀行根津支店 No.1776266 退職準備	325,932
みずほ銀行本郷支店 No.8062377 国際学会	6,020,878
その他の固定資産合計	<u>6,346,810</u>
固定資産合計	<u>21,659,318</u>
資産合計	<u>50,602,863</u>
<b>【負債の部】</b>	
流動負債	
前受会費	5,188,000
預り金	26,013
流動負債合計	<u>5,214,013</u>
負債合計	<u>5,214,013</u>
<b>【正味財産の部】</b>	
正味財産	45,388,850
(うち基本金)	(15,312,508)
(うち当期正味財産減少額)	(4,127,038)
負債及び正味財産合計	<u>50,602,863</u>

(2) 平成 22 年度会計監査報告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第 6 章  
第 49 条により, 2010 年度の事業・会計収支状  
況, 預金・為替等の帳簿を監査した結果, 適正  
に執行されていることを認めます.

平成 23 年 4 月 27 日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事  
富樫茂子  
渡辺秀文



## (資料3) 平成23年度財務計画

## (1) 平成23年度財務計画

収支予算書		平成23年4月1日から平成24年3月31日		
特定非営利活動に係る事業会計		(単位:円)		
科目	予算額	前年度予算額	増減	
<b>【経常収入の部】</b>				
会費収入	8,616,000	3,090,000	5,526,000	
事業収入	3,001,500	3,647,250	-645,750	
補助金等収入	1,000,000	0	1,000,000	
寄付金収入	0	2,300,000	-2,300,000	
その他収入	250,000	10,000	240,000	
経常収入合計	12,867,500	9,047,250	3,820,250	
<b>【経常支出の部】</b>				
事業費	16,643,000	12,210,000	4,433,000	
火山学に関する定期大会等の開催費	2,650,000	2,450,000	200,000	
会誌機関紙研究報告書等発行費	4,903,000	4,050,000	853,000	
公開講座講演会等開催費	1,050,000	460,000	590,000	
火山学等の普及啓発に関する事業費	2,500,000	3,000,000	-500,000	
火山学等に関する研究奨励表彰費	440,000	50,000	390,000	
助成金支出	5,100,000	2,200,000	2,900,000	
管理費	7,285,000	7,042,000	243,000	
経常支出合計	23,928,000	19,252,000	4,676,000	
経常収支差額	-11,060,500	-10,204,750	-855,750	
<b>【その他資金収入の部】</b>				
収益事業会計からの繰入収入	300,000	300,000	0	
その他資金収入合計	300,000	300,000	0	
<b>【その他資金支出の部】</b>				
特定預金支出	150,000	150,000	0	
予備費	500,000	500,000	0	
その他資金支出合計	650,000	650,000	0	
当期収支差額	-11,410,500	-10,554,750	-855,750	
前期繰越収支差額	22,958,189	27,250,263	-4,292,074	
次期繰越収支差額	11,547,689	16,695,513	-5,147,824	

(2) 会費記帳ルールの変更について

今年度の会費収入の前年度からの増加は会費の記帳方法の変更のためである。

- ・ 火山学会会費は前納制
- ・ 前納会費は、あくまで次年度の会費収入
- ・ しかし、今までは前納会費も納入年度の会費収入としていた

今までの	09 年度会費収入		10 年度会費収入	
取り扱い	09 年度会費後払	10 年度会費前納	10 年度会費後払	11 年度会費前納

本来は、前納会費は前受金として収支決算には含めない。

次年度に後払分も含めて、会費収入として当該年度の収支に記帳する。

本来の	10 年度会費収入			11 年度会費収入	
取り扱い	09 年度会費後払	10 年度会費前納	10 年度会費後払	11 年度会費前納	11 年度会費後払

2010 年度前納会費前納分を既に 2009 年度会費収入に計上。

2010 年度予算では見かけ上 2010 年度会費前納分が減収となった。

2010 年度の	09 年度会費収入		10 年度会費収入	
取り扱い	09 年度会費後払	10 年度会費前納	10 年度会費後払	
今年度の				
取り扱い	11 年度会費収入			
	11 年度会費前納		11 年度会費後払	

(資料 4) 各賞選考委員会・候補者選考結果

1. 日本火山学会賞 (1件)
  - ・ 巽 好幸 (独立行政法人海洋開発機構  
プログラムディレクター)  
「沈み込み帯のマグマ学への貢献」
2. 日本火山学会研究奨励賞 (2 件)
  - ・ 鈴木雄治郎 (東京大学地震研究所, 特  
任助教)  
「大規模シミュレーションに基づく噴煙ダイ  
ナミクスの解明」
  - ・ 福島 洋 (京都大学防災研究所, 助教)  
「InSAR を用いた火山変動検出と数値モデ  
リングによるマグマ移動メカニズムの  
研究」大規模シミュレーションに基づく噴  
煙ダイナミクスの解明」

3. 日本火山学会論文賞 (1件)

- ・ H. K. M. Tanaka, T. Uchida, M. Tanaka,  
H. Shinohara, and H. Taira (2010)  
Development of a portable  
assembly-type cosmic-ray muon module  
for measuring the density structure of a  
column of magma .Earth Planets Space,  
62, 119-129.

○ 2011 年度日本火山学会 学会賞・研究奨励賞・  
論文賞

【日本火山学会賞】

第4号 巽 好幸（独立行政法人海洋開発機構ブ  
ログラムディレクター）

「沈み込み帯のマグマ学」への貢献

【日本火山学会研究奨励賞】

第17号 鈴木雄治郎（東京大学地震研究所，特任  
助教）

「大規模シミュレーションに基づく噴煙ダイナミクスの  
解明」

第18号 福島 洋（京都大学防災研究所，助教）

「InSAR を用いた火山変動検出と数値モデリングによ  
るマグマ移動メカニズムの研究」大規模シミュレーショ  
ンに基づく噴煙ダイナミクスの解明」

【日本火山学会論文賞】

第12号 H. K. M. Tanaka, T. Uchida, M. Tanaka,  
H. Shinohara, and H. Taira (2010) Development of a  
portable assembly-type cosmic-ray muon module for  
measuring the density structure of a column of  
magma .Earth Planets Space, 62, 119-129.